

橋梁の耐震化・老朽化対策の促進（笠置橋、開橋）

（相楽郡^{そうらく}笠置町、相楽郡精華町～木津川市）

主要地方道奈良笠置線の笠置橋及び主要地方道枚方山城線の開橋は、ともに一級河川木津川を渡る幹線道路の橋梁です。

笠置橋は1959年、開橋は1971年に架設されており、その後の維持管理において適切に補修等を行ってきたところですが、耐震対策も必要であると判明したため、平成24年度から耐震化にも取りかかっています。

本事業は、耐震化と併せて老朽化対策も同時に行っていくことにより、車両及び歩行者の交通安全確保を図るものです。

令和元年度は、耐震化、老朽化対策及び詳細設計を実施します。

◎事業概要

全体計画	H30までの実績	R元計画
事業期間：H24～R2 事業延長：笠置橋 220m 開橋 436m 総事業費：約500百万円	事業概要：測量・詳細設計 耐震化工事 事業費：約285百万円	事業概要： 耐震化・老朽化対策工事 詳細設計 事業費：175百万円

◎事業効果

○耐震化工事・老朽化対策工事により、車両及び歩行者の交通安全を確保します。

